

94  
10  
39

準貴

享保十二年未子

公義被御上十

同十四己酉年造

享保十二 丁未 子

公義 藏書出印 應義 作上

同十四 巳酉年 迄

享保十二丁未の夏八月十八日。

大に沙江の書一通に市朝松澤氏と送  
返の舟終書未織の沙江送給の書并  
澤氏江の書一通沙江の書一通和紙の書  
沙用菱杉平江の書一通出の舟  
八浦江の書一通和紙の書一通  
心江の書一通和紙の書一通  
和紙の書一通和紙の書一通

沙上之書一通

沙南書

沙上之書

沙上之書

沙上之書

沙上之書

沙上之書

沙上之書

一胡祥正江東道三月之書漢氏在余

書一艘之書風去三月之書

三月之書

一曰慶尚道三月巨澤漢氏在余

一艘之書風去三月之書

三月之書

一曰全羅道三月昔與在漢氏在余

一艘之書風去三月之書

小細浦三月之書

右之書人胡祥正古道由船漢氏在余

海船之書在三月之書

并右之書在三月之書

之

同正月十九日

宗對馬守

沙書梅袋箱之上書

長川之内小細浦

長川之内大浦上漂着之朝鮮人送由舟渡禮曹奉議之返船并別幅  
築市之内慈島

一 深人只之上書之上色書

昔川之内

築市之内

一 上書 深島之朝鮮人只之上書并各年船之物書

朝鮮漂流人只之上書

一 秋儀朝鮮人江東道之内之海舟中一

漢民之只知人去年六月七日九人一航

宗祖之物之積為高貴迎御上儀古系

賣排小白車也烟土二月六日拜祝長島

立以紋橋桿之積一坂方上唐系作

雜成但風沙漂流同九日甚別内浦  
 今一市古為如仕らる浦人各及亦把  
 沙胸多秋より夜を以て舟同廿八日浦  
 北足港よりそりて運西四月八日甚傷表上  
 為仕於沙多り不志於味く一船被擱  
 以舟三月朔日甚傷表如如廿八日  
 對府為如仕らる甚傷多如中一運船  
 以舟被擱之使今もも  
 一 秋之字名は此舟の如く常船名新也

多し

漂民名年対

年 年 十八	平	メイウ
同 年 十 三	利	ヲシイリ
同 年 十 九	輝	シシメキ
同 年 十 三	全	センダキ
同 年 十 七	書	マクヨキ
同 年 十 三	鄭	スイウ
同 年 十 三	全	カワシエリ

日二十

日二十

全センユ

全サンニ

船身並船物

一 船二艘

長舟短舟  
横舟舟舟

一 橋二架

一 胡船並船八

一 帆二張

一 日四一枚

一 柁一枚

一 かのの葉船五架

一 棹一枚

一 芥三枚

一 櫓九枚

一 船二枚

一 蓬百二十枚

一 藤一枚

一 繩一房

一 胡船并船二文

一 水繩二節

一 船船二通

一 水桶二

一 鏡一面

一 法心二子二架

一 舟六

一 壺七

一 細川九節

一 湯三

一 菜八枚

一 鹿子二枚

一

午

七月廿九日

朝鮮漂流人上書

一 我儀朝鮮國高道巨海...  
 漢民... 九月廿九日... 一船...  
 漢沖... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...

浦人... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...

一 我... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...  
 漢民... 漢民... 漢民... 漢民...

漢民... 漢民...



来字十八

回字一

回字六

回字四

回字六

回字一

回字二

回字九

回字八

朴 トルナイミ

全 メクチエクイ

港 スウキ

斗 ヨライチエニ

朴 チヨバルニ

全 チカクニ

朴 セイセルニ

ち ヲトルニ

全 チトイキ

回字九

回字七

回字三

回字二

回字二

回字九

回字二

回字七

回字六

元 ソンチヤニ

全 シチエキ

鄭 クイセニ

鄭 シユヒリ

全 ヲクワキ

全 タイセニ

法 マンセ

全 シラニ

全 セホキ

目字十四

朴ハシエリ

目字十二

令マトキ

目字十三

河サイバリ

目字九

令ソクマニイ

目字九

申バホイ

舟ノミ并ノ何物

舟ノ艘

長サ九尋  
横サ五尋

一橋ノ中

舟ノ舟

一棧ノ中

帆ノ底

一楫ノ中

目七房

一送百ノ中

目八字中

一莫何繩字法

目舟中

一洞字ノ中

目舟中

一洞ノ中

目船船字中

一卷ニ

目船船字中

一四ノ中

目丁ノ中

一楠ノ中

目舟中

一水楠ノ中

目

午

正月廿六日

朝鮮總流人口之書

一 我之俄朝都全羅道一月廿四日  
百姓之口數也正月廿八日一人一船  
廣為之月廿九日在東道如之  
十之俄之口數也正月廿九日  
漕船之口數也正月廿九日

一 昔列小細浦之口數也正月廿九日  
之口數也正月廿九日  
泊市二月廿九日  
昔傷者之口數也正月廿九日  
昔所傷之口數也正月廿九日  
正月廿九日對射之口數也正月廿九日  
昔之口數也正月廿九日  
我之口數也正月廿九日

多中ム

徳氏名年対

年三十二

全タイクイ

同中

全シイ

同三十八

全タイチキ

同三十八

全セウイ

同三十八

全クニ

同三十一

全マノキ

同三十八

全トクバ

同三十二

全ラントキ

同二十七

全シユサニ

同三十八

梁ハンメキ

同三十八

全セントタ

同三十八

全ドンナミ

同三十八

全セクチキ

同三十二

全マクナミ

同三十八

全モナリ

同三十二

梁セヨギ

回十八  
回十五

全二ホキ  
深サニ

船より舟着物

船二艘

長サナリ  
横ニ交ス人

帆二張

櫓二挺

棹二挺

船二隻

舟中六張

水秤三斗

粉九張

道十段

錫二

楠二

胡冠葉花大小六

水桶一

竹片一

四十八

柳一

葉包十斗

打敷十段

危下二枚

船一

以上

年五月十九日

右三番通船

朝鮮國禮曹叅議李

顯祿

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

星槎遠屆

華槭隨至仍審

勤止清裕欣慰倍品漂氓既

勤救郵又煩

資送倘非

隣好何以臻此

佳貺謹領薄儀回敬統希

照亮不備

丙午年六月

日

禮曹叅議李

顯祿

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芫貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丙午年六月日

禮曹叅議李

顯祿

朝鮮國禮曹叅議李

顯祿

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

星槎遠屆

華翰隨至憑諦

啓居冲迪慰浣實深漂眠旣蒙

拯救又



勤資送

隣好采篤感荷交弁

珍貺謹領薄儀回敬統希

照亮不備

丙午年七月 日

禮曹叅議李

顯祿

別幅

人參壹觔

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油、花貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丙午年七月 日

禮曹叅議李

顯祿

朝鮮國禮曹叅議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

星槎忽屆

華札遠辱憑諦

興居清迪慰沃良深漂海人口既

勤拯救又煩

資送倘非

隣好何以至此

珍貺謹領土宜略呈統希

照亮不備

丙午年八月 日

禮曹叅議慎

無逸

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芭貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丙午年八月 日

禮曹參議慎 無逸

享保十二丁未二月六日

去未正月十九日號前之內西浦上原為

蔚山漢民六人乘一艘同日廿日石列之內

昭浦上原為之梁山漢民九人乘一艘

朔鮮由上送還送作外堤社曹參議

沙進海二箱英德民口上書二通口上書

口上書今日沙用表杉木何家等秋上表

口上書沙用表杉木何家等秋上表

一子為免上而後口上上上上上上上上上上

也結元亨山... 年之... 公... 教  
乃終之

以之是

一 朝鮮王慶尚道... 蔚山... 漢氏... 亦如  
一艘... 放風... 去年... 正月... 九日... 漢氏... 亦如  
乃漂... 光... 公

一 曰... 漢氏... 亦如... 一艘... 放風...  
去年... 正月... 九日... 漢氏... 亦如  
右... 漢氏... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

迎... 亦如... 一艘... 放風... 亦如  
并... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

二月六日 宋對馬守

料... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

沙書... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

漢氏... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

石... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

漢... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

漢... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

列... 亦如... 一艘... 放風... 亦如

漢帝内書  
為内備

漢書卷之九十八上書并序其為書通

朝鮮漢流人口上書

一 我之儀朝鮮王慶尚道内里山多可  
之民之民在六百五十八日之人一船  
亦從其漢  
亦亦以俄而列其以橋樑之換地方  
漢書之漢流人口上書  
漢書之漢流人口上書

一 我之儀朝鮮王慶尚道内里山多可  
之民之民在六百五十八日之人一船  
亦從其漢  
亦亦以俄而列其以橋樑之換地方  
漢書之漢流人口上書  
漢書之漢流人口上書

三十一

澤氏若英年付

年三十三

全イニホイ

同中四

全メクバリ

同中七

全マシジキ

同中六

全イルセ

同中六

全チニメキ

同中六

全ノウギ

同中二

全イワチユイ

同二十四

鄭サイ

同二十三

全イニチヤギ

船名英年付

船板七中夜

汁徳キ

水持七中

船板七中

後三

同四九

徳二節

船子八中

道中板

船板キ

細中板

徳利キ

一 楠二

一 飯沼

一 危丁

一 水柳式

一 新

手紙

明徳徳流人

我儀初結生慶尚道也  
漢氏... 南... 舟...

おとしを... 成... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...  
舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...  
舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...  
舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...  
舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...



年一

舟人若并年付

年三十七

字ヤクソノ

同字十三

朴ヲムサリ

同字十八

朴サンニ

同字十六

朴セキ

同字十

姉トクニ

同字五

韓イヒ

舟人若并年付

船

舟人若并年付

船十八

橋

橋式

帆

箱

櫂

酒罇

櫓

汁罇

道

打交

水

酒次

法

水桶

後

船子

一 從

一 危丁

之

年六月十五日

古事記云 倭人沙邊海人紀

朝鮮國禮曹參議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

槎便遠屆

華槭隨至仍審

啓居冲裕慰浣良深漂氓既蒙

拯救又煩

津送

隣好采篤感荷曷已

珍貺謹領薄儀回敬統希

崇亮不備

丙午年八月日

禮曹參議慎

無逸

別幅

人參壹觔

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芘貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丙午年八月一日

禮曹叅議慎

無逸

朝鮮國禮曹叅議李

顯祿

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

槎便遠屆

華槭隨辱憑諦

興居清裕慰汰良深溧海人口既蒙

拯救又

勤津送實荷

隣誼欣謝曷已

佳貺謹領

厚意薄儀粗表遠忱統希

崇亮不備

丙午年七月日

禮曹叅議李

顯祿

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油花貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丙午年七月一日

禮曹參議李

顯祿

享保十二丁未六月廿六日

享保十乙巳子六月廿五日

享保丙子六月廿四日

依傾之為之插取仕人一件

朝祥至中申禁使村案

後禮曹奉判之返為而來

書收之入之及誠之

以之書抄德之日

以之書抄德之日

江表之上西後中是也出指船帳終

未七月十八日

去年十月十日封列縣浦上德者信公命  
浦之漢氏十一人各一艘曰日泉浦之德  
者人水營之漢氏十人各一艘曰年四月  
十九日泉浦上德者信公命之漢氏九人  
各一艘曰年四月十九日泉浦上德者信公  
命之漢氏九人各一艘曰年四月十九日泉

二箱每漂氏口上書之通也或通也

二月今日法用者本在將監校也高是

人浦即信抄抄未出用今中上書也

中達之也又法用者本在將監校也高是

相後之也又法用者本在將監校也高是

相後之也又法用者本在將監校也高是

法書同家箱之上書

對列之白泉浦泉浦口漂着之胡餅人  
送函以月候禮曹本議之通簡并別幅

但一以之德

對列之白泉浦口漂着之胡餅人送函并  
候禮曹本議之通簡并別幅

但名以之

漂人只上書之上也書身

對列之

泉浦

漂着之胡餅人

只上書并上書身

胡餅漂流人只上書

一 我之儀胡餅國慶尚以月令山浦漂着

以在公十一人一如宗紀十月五日漢之

橋樑之換一地方上漂着及被檢出江風

漂流仕望十日苦耐對列泉浦口漂着

以長又事連浦人一如宗紀十月十日

府中上上漂着已存糧号号号

之之如所補之江身疑有甘好

一 我之宗名之候沙身之如人常之報言新迎



志

澤人 若無年

未三十九

池 クイアニ

同三十九

池 チクソイ

同四十九

全 クイトル

同四十九

方 マクナニ

同三十九

全 レヤギ

同三十八

孝 ムクナ

同三十一

全 サアニ

同二十九

池 クイテリ

同二十九

池 ソクムソイ

同二十七

全 コムサニ

同十九

池 クルニ

船を并る物

船

長七尺  
横五尺

橋

帆

梳

楷六換

本從三改

經三房

鈔道七通

芥三換

全所八

自芥三換

二り三

匙十三

飯湯三

四六

危丁三改

之

年十月吉日

朝鮮邊境人口書

我儀朝鮮生慶尚道一内水字一漢氏言

沙海一人一私字從十月九日漢一私字

俄より河内野原より橋渡を渡りて  
 後新田に渡りて深流は廿十日  
 泉浦より深流より又泉浦へ  
 新田に回す日府中より徳田に  
 して此の夜きくこと重流橋を以て  
 新田に回す日

一 我々宗右の法法守の如く常  
 新田に

深人右無年

同字一	同字八	同字	同字三	同字四	同字十	同字四	同字五	同字三	同字六	同字六
全 ワヤクバリ	全 トルマニ	任 リマキ	全 ウンボヒ	全 リンナニ	全 サニイヒ	崔 メクシヤギ	全 クムナニ	全 ライシヤ	全 クムナニ	全 ライシヤ

日十三

全廿六十三

船之英名物

船之艘

船身  
横一尺五寸

橋

帆二

花

樽

巾

袋

釣道  
令所  
世十  
水柳  
湯武  
四八  
危

*(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)*

辛酉八月廿五日

羽翰漂流人之書

我之族羽翰也。唐尚通內尉。之漢氏。以在公之人。一船。乘此。十月廿六。進浦。日。至。我。回。中。八。日。渡。海。而。來。如。微。而。風。烈。之。亦。必。播。種。之。於。地。方。之。漢。矣。其。後。雖。也。但。風。流。流。注。之。十。九。者。昔。時。對。列。泉。浦。也。

汝。亦。如。我。進。浦。人。之。亦。如。我。也。他。日。其。六。日。府。中。之。漢。也。吾。種。亦。多。之。以。之。亦。流。氣。之。之。如。所。播。之。以。身。種。之。也。也。也。

我。之。宗。也。漢。也。身。之。如。人。等。之。親。也。新。也。也。

漁人若無年

辛酉年六月

同中

全  
全  
全  
イ  
イ  
イ  
ヒ  
ヒ  
ヒ

回字四

全 フフレヤギ

回字一

全 タアニ

回字一

雀 トツトリ

回字一

李 トリ

回字六

李 レユニ

回字四

朴 ソルレニ

回字六

李 コキ

船一艘 舟一舟

船一艘

舟一舟

橋 紗巾

帆 二張

桅 一杆

櫓 六枚

巾 後或次

尾 或房

舟 一

舟 通

舟 六

此乃命

鴻武

弟統之

危下之救

之

年十一月廿六日

朝鮮國禮曹叅議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

護船特來

芳楫遠辱就審

啓居冲裕慰沆良多瀕死漂氓幸荷

廩繕遣還之

惠深感

隣誼無以為謝

厚賜謹領薄儀回敬不備

丁未年二月

日

禮曹叅議慎

無逸

別幅

人參壹觔

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹



花席叁張

四張付油笔貳部

黄毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丁未年二月 日

禮曹參議慎

無逸

朝鮮國禮曹參議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

護船特來

芳楫遠辱就審

啓居冲裕慰流良多濱死漂氓幸荷

廩繕遣還之

惠深感

隣誼無以為謝

厚貺謹領薄儀回敬不備

丁未年二月 日

禮曹叅議慎

無逸

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芘貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丁未年二月日

禮曹叅議慎

無逸

朝鮮國禮曹叅議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

槎便鼎來

華槎隨至仍諦

興居清裕慰沃良深漂海人口既蒙

拯濟又

勤津遣倘非

隣誼之厚安能臻此

佳貺謹領薄儀回敬統布

崇照肅此不備

丁未年二月 日

禮曹叅議慎

無逸

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芑貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丁未年二月 日

禮曹參議慎

無逸

朝鮮國禮曹參議慎

無逸

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

槎便鼎來

華槎隨至仍諦

興居清裕慰沃良深漂海人口既蒙

拯濟又

勤津遣備非

隣誼之厚安能臻此

佳貺謹領薄儀回敬統希

崇照肅此不備

丁未年二月 日

禮曹參議慎

無逸

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席 叁張

四張付油花貳部

黄毛筆 叁拾柄

真墨 叁拾笏

際

丁未年二月 日

禮曹 叅議 慎

無逸

享保十二丁未年十二月廿日

南善善掛田代水換葉内田代仔方

中級分舟舟舟通沙口上書抄總今日

沙用為松平河野等秋上高宮松大浦

作書物承仕以高宮松大浦等

對馬弓胸分肥前由一内基耕喜又お郡

換色

一田島<sup>知</sup>三子五音或後七名八斗案

内田方二千番程八名或年余

内畑方番六名或年余

方々南甚早魁打後七月中旬迄  
換毛仕人云々

宗討馬子留名

十二月廿日

八浦津書

享保十二丁未年十二月廿八日

朝鮮王慶尚道内谷浦之民或人示

示一艘去年十二月廿日沙園西泊浦全羅

道内昔與之漢民七人示船一艘南來

二月朔日吉列波島浦上泊漢民舟全山

浦之者去朝鮮沙羅月止於對昔與之舟

後送使之人云於送之氣吹孔書來儀

山邊船二艘矣漢民只七書二通沙海州

或送之舟舟今日沙用為船架伊等云云









本或後八

南 シンメギ

同六十一

全 エンエキ

同部中

黄 エンサン

同部中

鄭 トルサギ

同部中

全 クンエン

同十九

任 バルスイ

同十八

全 フンシリ

和之英名

和之艘

長サ六尺半  
横 五尺五寸

楫 三枚

帆 一枚

櫓 四枚

中 一枚

尾 二枚

艀 一枚

水 押 二枚

底 下 三寸

口 弁 三寸

柳

瑞

水

紅

子

海

以

未  
五月十八日

朝鮮國禮曹叅議李

重協

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

搓便忽届

華札遠辱憑諦

興居珍迪慰沆良深漂眠既蒙

極濟又

勤津送

隣誼采篤感謝何已

佳貺謹領薄儀回敬統希

宗亮<sup>皆</sup>不備

丁未年三月 日

禮曹叅議李

重協

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芘貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丁未年三月 日

禮曹參議李

重協

朝鮮國禮曹參議李

德壽

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

海帆馳价

華札如玉備諱炎夏

啓居珍衛傾儀無已邊浪漂泊輒蒙

接濟資廩治船又煩

護還睦鄰之誼良用嘉歎

盛貺謹領菲儀畧表統希

崇亮不備

丁未年七月 日

禮曹參議李

德壽

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

別幅

人參壹觔

虎皮壹張

豹皮壹張

白草布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芫貳部



黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

丁未年七月 日

禮曹 參議 李

德壽

宣統元年七月十二日

濟國春秋早題田細方九石案換毛筆

作身山案月十二日在法園下

右一週之以上之...

換毛筆之...

正法上之...

法案內書...

乃通之...

於海...

對馬國田細抄毛之卷

一 田細字子之旨五拾字原

田細字子之旨或拾字之字原

田細字子之旨七拾字原

古之通去秋早題打溪抄毛之旨

宋對馬高島長

正月十日

八浦抄之旨

古之科後字書子之旨或拾字之旨原

宋一 八浦抄之旨

享保十二庚申六月十日

清用者久保德治抄之旨原八浦抄之旨

抄抄者清用抄之旨或拾字之旨原

古之科後字書子之旨或拾字之旨原

古之科後字書子之旨或拾字之旨原

以上之旨

朝鮮國忠清道之內先月東比山織野邊

抄抄者清用抄之旨或拾字之旨原

高天と率し行ふ事古も唐は姓来  
人民之性一却し通此を久塞し甚及  
路動の身が善と討ひ終つて物と  
律執らるる残意ありし事終つて  
所より通此なり由り中より終ん  
古くは通此を造り家形なり終つて  
得人古も身なり事し終つて終つて  
事由り身なり事し終つて終つて  
し上り終つて終つて終つて終つて

丁上上上上

白月十日

宗對馬

古新儀を書す切お徳は法身なりと云ふ

享保十一年申の八月廿三日酒酒の四代本  
所生所叶百姓古切を丹此族の事  
為元法而書し通之切又丹法以奥付  
能合子秋中不深意なり古高も在る大浦

此書抄本... 氏續九子初九終

古印文丹... 族商於光

肥前國... 子日村百姓... 宗妙寺

一通... 族一人...

及心之

宗對馬... 抄到

與津德...

中下伊...

中下伊...

奧村...

抄通...

邦族沙由書之通法者中之定

與時能也

申  
分中

治部

八浦

白切又丹邦族商火法而法書射通

法者中之定

東海

申  
分中

中書

馬本公卷

宋對馬

八浦

享保十一年八月廿六日

朝鮮國山城一峰に海が是に西路の故に  
 海に中し東に吹く昔も此の上は  
 とて山城の山城障壁を悉く  
 北に海に北に海に北に海に北に海に  
 中し東に吹く昔も此の上は  
 事なるが故に山城の障壁を悉く  
 北に海に北に海に北に海に北に海に  
 北に海に北に海に北に海に北に海に

わきまに用いし山城の障壁を悉く  
 北に海に北に海に北に海に北に海に

以上是

先達より山城の障壁を悉く  
 北に海に北に海に北に海に北に海に  
 海に北に海に北に海に北に海に  
 北に海に北に海に北に海に北に海に

六月廿六日

宋對馬

京原より中申さす年月也

一此有月海より此和名を在り用入中より  
いふは尚も其よりいふに在り用入中より  
所未と云ふ用入書に在り用入中より  
或は用入用入此に在り用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此の形より用入文字に義理用入  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より

書ありり此段日和名より用入  
海名ありり此段日和名より用入  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より

此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より  
此のよ此れを帯ひて用入中より

白之号

右列曰德是法人の名入腰に数枚の書物  
ありて遊する身は此の律法に義あり

礼之礼

廣西 廣尚道一ありて事なるは

丁亥春日 丁亥の志は事なるは

左生 字義お知なり

秋紅 字姓お知なり

茅六間 字義お知なり

孝自老来 此の志は法人の性志なるは

未之年四 志は事なるは

又李昌好 又の性志は事なるは

伯 志は事なるは

鎮卜 押は事なるは

又之礼

廣西

丁亥春日 市なるは

左生



第八間軍

字義お知すん

差駿九

さしあの駿名をわん

年軍五

さしあの年をわん

又差士男

さしあの又を差士男をわん

位

さしあの位をわん

徳下

吉腰に必津氏をいしあ腰すり也又差駿  
来しをいしあをいしあをいしあをいしあ  
中下り方いしあをいしあをいしあをいしあ

吉腰に必津氏をいしあ腰すり也又差駿  
来しをいしあをいしあをいしあをいしあ  
中下り方いしあをいしあをいしあをいしあ

宗對馬守

吉腰

平山守

享保十三年八月廿六日

所用書札古書多上公上書付た記

朝鮮出兵遠征の内中蔵政使意押在令  
討死及路劫を以て法善月一と云境  
乃後。如く抄中一紙に在る所七少筆  
之に王信神地。若くは家事なる方一と  
一紙を白紙に引取らるる法遠の内報送之令  
仕る者之運城人將李麟は李信と云

日記に昔人抄多々令由候に人々  
法内通抄書付付。この法は朝鮮の國に  
出長之抄子之候。右者抄所は報送人  
兵物及紅紙の抄等お取付子運兵  
曹判書之抄付使。之と云る向報送  
日記に在る人書目事人火刑に引取所  
運城。右は公軍兵士卒亦有。由と  
候。法善月一付は。公上抄書。右衆  
兵由申。之候。右者。公上。と云。法國

高天自國の地を以て秘の事あり  
予の予の意を以て秘の事あり  
中級の手は以て法を以て秘の事あり  
お智の事は以て法を以て秘の事あり

有月十日

宗對馬

右料の事もさす切りの事もさす也  
いし是れ宗

享保十三年十月十日

沙國田代南平の宗門及び深切支丹  
の事あり

一切支丹宗門の事あり  
先年より以て法を以て秘の事あり  
私胸中より以て法を以て秘の事あり  
者も以て法を以て秘の事あり  
宗の事あり

一古切支丹の跡を尋ねて高天原の山に遊覧  
後之の夜に事

一御中へとて事の家の中へ去りて又高天原

西之山に此の境に高天原の山ありて

事建下し事

之

高天原の山に事建下し事

高天原の山に事

高天原の山に事

事

高天原の山に事

高天原の山に事

古書に事建下し事  
高天原の山に事

享曆十三年申心○十一月廿五日  
因河... 十日... 涉海... 勅... 女...  
涉海... 大浦... 涉海... 勅... 女...  
與... 涉海... 勅... 女...  
涉海... 勅... 女...

車半日... 涉海...

涉海... 勅... 女...

二月... 涉海...

涉海... 勅... 女...  
涉海... 勅... 女...

享曆十三年申心○十一月廿五日

明... 涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

涉海... 勅... 女...

蜀人中村海念下由後多叙叙而  
乃上少信元子由由之正序

一法行上書一通 沙用者

一法連海或和 出所和名所也

從新上上法終名終下也

一法氏の上書下字

山村所也也聖後書原也終所くも也  
く上上た下通を下りくも也

長列の内上庭古海名も湖船入の上書并

長年村所くも高也書并一通

對列以浦上海名も湖船入の上書并

長年村所くも高也書并

古も通形古波くも終入終并の上書

くも也

一湖船園慶尚の内由德く海氏上三人

宗和一艘くも終并上上書并書列内

川原古波海名也

一由道くも流書も海氏入宗和一艘也

五月五日對列國使節  
市海人胡船由上送而久次書藏  
進高而事法人信乃法教之海人  
并名年如之海物之書對使節之人  
以上

五月五日 市海

從書字如信使信終之字也

朝鮮使節入之書

一 我儀胡船之廣尚遠內統高之市

漢氏之市如人回之同送蔚山之市也其矣  
吾用之酒之市也人舟古酒乃信也今月  
十九日一人一船亦從蔚山之市也其信也  
而凡列國之使節乃上漕舟之使節也之  
橋樑之抄洋中一海古國矣一日少之流  
舟之市也浦人舟古舟之市也對列國使  
中而市也之市也其也地也舟之市也氣也  
料也舟之市也舟古舟之市也舟古舟之市也

舟中一は...  
...

我々宗...  
...

海兵衛...  
...

年廿八 澤セライ

同廿六 金カイトク

同廿八 李ホクイ

同二十 宋バイロソイ

舟中...  
...

舟一艘 長廿八身  
横八人守

橋二本 舟中人

楫二枚

帆二枚

櫓二枚

巾着二枚

舟中...



- いろいろ
- 海多一
- 楠一
- 巻一
- 子芥一
- 壺一
- 筆一
- 書一
- 巾一
- 巾一

— 糸入袋二

申 骨月書

胡船漂流人

一 我々後胡船出度高遠一月間徳之有  
 漢氏より来た年十三人一船安記三年  
 十月より方船先下即水機西風烈く  
 船より東漢地方に漂着す此後船は海流

仁曰高日貴列...  
 子建浦人...  
 物多...  
 菜...  
 比...  
 比...  
 比...  
 比...  
 比...  
 比...

一 我... 之... 之... 之...

德氏若每年

- 本年
  - 同早
  - 同早
  - 同早
  - 同早
  - 同早
  - 同早
- 令... 令... 令... 令... 令... 令... 令...

同字十  
同字六  
同字六  
同字十  
同字三  
同字九  
同字十

全クワチユキ  
濃ホリニヒ  
鄭マコ  
全サナシ  
全ソセニ  
朴チニ  
全ルトヌキ

船の各名

船一艘  
檣七挺  
橋二本  
檣二本  
帆二張  
舵一本  
多檣一本  
後多氏  
長六字枚

長クハ身木  
檣ニ文

法心書

酒軍書

切子の旅書

巻七年

徳利一

切子書

名物書

帯十三年

紙合書

以中十七

書判一

少口三年

筆統二年

四十

楠三

信多一

け多一

尾下七枚

芥一板

此三一女

為家十之數

細月十日節

之

申二月廿日

沙廷第每列幅九九九

朝鮮國禮曹叅議李

顯章

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

星槎帶

札憑諦

起居珍迪欣慰倍品漂民幸蒙

稟濟輒煩

津送苟非

隣誼之篤何以至斯感荷不容喻

佳貺謹領薄儀回敬統希

照亮不備

戊申年五月八日

禮曹叅議李顯章

別幅

人參壹觔

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿細伍匹

白木綿拾匹

黑麻布叁匹

花席叁張

四張付油芘貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

戊申年五月 日

禮曹叅議李

顯章

日本國對馬州太守拾遺平 義誠 奉書

朝鮮國禮曹大人 閣下

春濃共惟

貴國政化馳仰倍品

本邦無爲

貴國慶尚道盈德漁民一船十三名客歲十一月十六日

爲漁浮海俄遭猛風同月十四日漂抵

本邦長門州川尻浦州守加隱郵送諸長崎廳廳

司乃啓

東武遵規附吾有司本月二十日解到漢州仍資與

衣糧修理船械使播守政送還之不腆土宜

莞納幸甚統希

自毓肅此不備

享保十三年戊申二月 日

對馬州太守拾遺平

義誠

朝鮮國禮曹叅議李

顯章

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

槎便鼎來

華城隨至憑諦

興居清裕慰浣良深漂民既蒙

濟卹又

勤津送

隣好采薦欣謝無已別幅



珍品謹領

盛意不腆。土宜庸伸回敬。統希

崇亮不備

戊申年四月 日

禮曹參議李顯章

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

白木綿拾匹

黑麻布叁匹

花席叁張

四張付油花貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

戊申年四月日

禮曹叅議李

顯章

京保十二日戊申三月廿五日

所願之日代商秋控毛山案內請用數錢  
和泉寺移石大浦印集抄書之少少  
而於此中書之乃其乃記

對馬寺開之肥前國之內基蘇吉文也  
換毛之是

一曰細中書百武控或石穿來  
內回字中書若中來

日高子音接去人年未

方有南秋水接去物毛は人乙

二月九日

宗對馬守  
八浦守

料身等々知と色より成事と色とと一  
らるる河東

京保十乙酉年一月廿一日

一 去年四月廿六日甚烈に内田有るは深き

度高遠に内連日多し市商人十人余一艘

朝鮮國に送送に舟長江曹來續に送物

一 船舟漁民に上書らるる今日出用を採

取將登秋に上書らるる舟出高居平山に去

持来の五匹梅以控し傳對候に上書候

中上書らるる舟出高居平山に去

一 法字之書一通

法蘭西

一 法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

一 法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

一 法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

法蘭西

法字之書一通

法字之書一通

法蘭西

朝鮮漂流人 口述之書

一 我儀朝鮮國慶尚道內連日多事  
商人多遊歷公去年九月十三日十一人一艘  
乘組乃高貴感流送古裝裝乘於矣  
其者南面二月十日泊市波如帆以受逆風  
所吹地方唐島以及難出洋中漂浪  
以長又回中日風烈一舟如自轉無於矣  
控一江風漂流往望十六日長列內田角  
多事如始行如事連泊人言言於矣把

法蘭之松上流之江舟者唐島之單  
同舟之港也如是法二月三日長流上名於  
沙里行氣以吹連一上如所捕以舟月  
廿六日長流表示如裝二日對列名於  
法長流中事至法之流之江舟  
報之也也也  
一 我儀定之流之舟上舟人常記言新述之  
也也也

未字三

雀ツセコ

回字一

雀サナコ

回字九

雀トリセ

回字六

雀クシセニ

回字四

雀カフサニ

回字一

雀ツセニ

回字三

雀サシサニ

回字七

雀トルマニ

回字九

雀テシイリ

回二十

雀センイ

舟長八身三人

船一艘

横二身二人  
舟一舟

橋二本

樺一舟

櫓六挺

巾後二匹

侶二名

善後舟中九枚

あり板二枚

水押七中

持心六本

帳二巻

細川大小二巻

呂字二枚

英二枚

由所二

芥二枚

徳一換

虎丁二枚

壺一

瓶二

申所七中三交

布一陽

筆袋五中

かこの珠一

匙十中

あり板二枚

水押七中

持心六本

帳二巻

細川大小二巻

呂字二枚

英二枚

由所二

芥二枚

徳一換

虎丁二枚

壺一

瓶二

申所七中三交

布一陽

筆袋五中

かこの珠一

匙十中

卷之二

楠之

為家大友

以

中

買月廿六

朝鮮國禮曹叅議李

顯章

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

槎便帶

書仍諦

啓居冲裕慰浣良多漂氓幸荷

廩繕津遣之

惠深感

隣誼無以為謝

厚貺謹領薄儀回敬



崇亮不備

戊申年六月 日

禮曹叅議李

顯章

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油花貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

白際

戊申年六月日

禮曹參議李

顯章

享保十回之圖年正月十六日

初年保面之申後吉園之門紙外之書  
此之書法無後方亦各之注用之類也  
海島之紙之類也用者採集海島之紙  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也

海島之紙之類也其紙之類也其紙之類也  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也  
其紙之類也其紙之類也其紙之類也

多聞いん

心月

宋對馬

享保十三年三月

今日是也 上及是又

社各也 中曾也 通り

沙同書 大浦 浦 書 村 宋 長 玉 氣

沙清 老 女 申 沙 通 是 也

いと光

私儀 園 行 沙 眼 下 並 月 沙 札 小

中 上 光 山 沙 乃 事 信 也 中 書 所

沙 後 乃 事 行 事 後 乃 事 乃 乃 乃

中 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

頃 日 光 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

と月

宋對馬

享保十三年八月廿一日

抄奉抄上日法着法法用表抄奉  
乃通將監秋古法向与若平中乃長人通  
口上書抄德抄表法用入而後若表氣  
奥口上抄入進月抄表若抄若抄若抄  
抄表知若抄表若抄表

口上

後堂入學頭緣理法對馬張苗地  
敬及中苗是抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄

傳口抄表法法法法法法法法法法法法

西是法法抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄  
十寸敬口抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄

宗對馬

平山乃長

口上

享保十三年八月廿一日

竹地長抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄  
口高口抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄抄

和同の巻

今行

沙州城の山道

竹馬名柳沖入奥月對馬と後綿

上級糸綿

百把の織物と糸綿は糸の在園に織

日影

沙州の織物と糸綿は糸の在園に織

糸綿

了は糸綿と糸綿は糸の在園に織

家智沙州の上と糸綿百把と後綿

積沙州の上と糸綿百把と後綿

用意は糸綿百把と後綿

山脈中同人之

宗對馬

八月廿日

平山守

享保十一年己酉年八月廿九日

世襲成列裏沙州の糸綿と糸綿は糸の在園に織

沙州の織物と糸綿は糸の在園に織

沙州の織物と糸綿は糸の在園に織

沙州の織物と糸綿は糸の在園に織

拾方... 舟... 運... 入... 書... 也... 也... 也...  
沙... 也... 二... 之... 而... 也... 也... 也...  
沙... 也... 也... 也... 也... 也... 也...  
方... 也... 也... 也... 也... 也... 也...  
沙... 也... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...

口口口

宋對馬... 上... 海... 東... 國... 昭... 昭...

是... 一... 月... 宋... 昭... 昭...  
拾... 也... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...

宋對馬

八... 月... 九... 日...  
古... 書... 對... 宋... 昭... 昭...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...  
也... 也... 也... 也... 也... 也...

清光の道をくわひて心方にお雨の如く  
の事...の事

四年八月廿二日 日暮迄の間に檢査  
男子神田村の御受町迄田舎まで  
...先貴の舟を乗る貴子の形は  
男子全子に及ぶ謝りて心...  
中...道...水...谷...の...子

之を謝りて申す外大に海に謝りて  
...の他山月村の源長が村人浦  
...志たけりて書物未だ

りて是

は後沙葉内...と對馬の御受町  
...田子神田村の御受町  
...店神田倉庫...  
...の御受町...  
...の御受町...

如次法由中よふ之

宗對馬首

八月廿二日 人浦

享保十四年九月十二日

高野院抄年定八月一日法起  
御様少抄之成法園  
少抄之長法之文之進

とて定武少毛腹交り

公義少由少上少法少得少由各

少と少抄少中少法少由少法少

少年少少曾少法少之少少年少

少中少法少少法少由少法少

少法少少法少法少少少少

又少法少少少少少少少少

少少少少少少少少少少少

少少少少少少少少少少少



沈對沈抄事一以之云云沈抄事也  
 與此沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也  
 沈性沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也

沈性沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也  
 沈性沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也

沈性沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也  
 沈性沈抄之成也中抄事一以之也  
 一以之也一以之也一以之也

一以之也

沈性沈抄之成也中抄事一以之也

仕人高對馬之儀之對馬之志之儀  
曾從母之志投之儀了之儀對馬  
實之曾從母之志投之儀了之儀  
能之志之儀之志投之儀了之儀  
了之儀之志投之儀了之儀

平山

九月

平山

一 享保十四乙酉年同九月八日

所國田代南年之室門改修文例之儀  
沙中儀之儀之儀之儀之儀之儀  
平山之儀之儀之儀之儀之儀

一 切支丹室門改修之儀之儀之儀

先年之儀之儀之儀之儀之儀  
私通之儀之儀之儀之儀之儀  
之儀之儀之儀之儀之儀

一 女を娶ふ事

一 古くは丹に於ては徳を以て常の切に教  
養はす事

一 一甲を以て市に賣中し事  
其の事と云ふは以後の事也  
有る事

一 事

一 事

一 事 宗對馬

一 事

一 事

一 事

一 事

一 事

享保十三年己酉年十月廿三日

去年九月七日石川内垣田浦上深名  
慶尚道内昔營多事之深名之人  
亦一艘朝鮮出上送送舟信信曹慶  
少送船一艘并深名了上書一通送送  
上深名之紙舟舟今日用着出御舟舟  
大浦上之書舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

書筒箱之書舟

石川内垣田浦上深名朝鮮人送舟舟  
禮曹系職之送船英別幅 但舟舟

深名了上書上上書舟

石川内垣田浦上深名朝鮮人了上書  
并石川舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

朝鮮深名了上書

一 我儀朝鮮送慶尚道内昔營多事  
深名了上書舟舟舟舟舟舟舟舟舟

の候所おのりて又俄に此の地を以て  
 濃秀料と称す舟は月日漂流は四七日  
 石別塩田浦に到りて船は此の浦に  
 揚りて其に人望日浦人如くは女抱  
 此浦の各程おのりて此の浦に舟は月  
 二日おのりて舟は日と流す事と云ふ  
 此の浦に舟は月日と流す事と云ふ  
 舟は月日と流す事と云ふ  
 舟は月日と流す事と云ふ  
 舟は月日と流す事と云ふ

一 我々宗旨は後述の如く常々此の地を以て  
 舟は月日と流す事と云ふ

漂流人若菜年

未中

全 子去二七

同中

全 子去二七

同中

全 トルメギ

同中

全 ホムサリ

同中

全 ホウニ

同中

全 シユニヤン

同字九

同字九

同字十

全ホキ

姜ホラン

全ヲツスイ

船隻毎高物

一 船板字板

一 橋二巾

一 帆二張

一 橋三板

一 菱板七枚

一 細川一節

一 獨木小二

一 葉板十八

一 四九

一 梅木小三

一 杉板九枚

一 蔦板九枚

以上

角

二月十日

朝鮮國禮曹叅議徐

宗玉

奉復

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

槎便忽屆

星槎隨至憑諦

輿居清迪慰浣良深漂氓旣

勤濟卹又煩

護還寔出

隣好感荷曷已

珍貺多謝

厚意薄儀略表遠忱統希

宗亮不備

己酉年五月 日

禮曹參議徐

宗王

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

白木綿拾匹

黑麻布叁匹

花席叁張

四張付油氈貳部



黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

己酉年五月 日

禮曹叅議徐

宗玉

白中

深

入

入

際

享厚之商年上八月八日恩成德毛

此之送用委松平大將監修古書

沙布之德連一之古書古沙布角之

車一之利古書監修古書

古書古書古書古書古書古書

古書古書古書古書

形亦以國内胸之基群古書古書

換毛

一 田畑六千五百八拾七石中米

田四万六千七拾七石中米

田畑一万七千石中米

一 例家百七拾七石

一 例家百七拾七石

右ノ苗秋大風由造りノ損毛法定

三月十八日

宗對馬守

享保十一年庚子四月二日

一 切支丹宗門徒布ノ之辦悉今以取路ノ者

ノ法如シテ法所ノ書ニシテ法所ノ私領申

立ノ申シテ之ノ事ノ變ノ家中ノ者ナク

申シテ之ノ事ノ變ノ家中ノ者ナク

申

一 古切支丹ノ以獲ノ者大當ノ以以取路ノ者

無シテ之ノ事

一 例申立ノ事ノ變ノ家中ノ者ナク

一 一のりふとて名は後出富成共行ふと  
お運つて名事

一 一と

一 幸原の屋敷年八月十日 宗對馬少判

少判

少判

白澤徳盛より後

中下屋敷より後

中下屋敷より後

白澤徳盛より後



